

神奈川大学附属中学校

市進学院主催 学校訪問会レポート
2019年 6月 26日 (水)

2019年6月26日、穏やかな青空が次第に広がり、さわやかな風が吹き始めたころ、神奈川大学附属中学校の学校訪問会が行われました。

校舎は高くそびえ、なぎなた部などの「祝、全国大会出場！」の垂れ幕が、優雅に風に舞っていました。



菊池校長より、「本学は、足を大地に手を大空にというスローガンを掲げて、しっかり学力をつけながら、先進的な教育に挑戦している」という説明がありました。

また、小林副校長より、「2019年入試では、合格ラインが正答率63%だった。」というデータが発表されました。

説明会後の施設見学では、制服コーナーも案内していただきました。「地味な制服ですが・・・」と謙遜されていました。

また、パソコンルームでは、今話題のプログラミングで、小型移動装置を開発していました。

「男女共修」の指導方針から、家庭科や体育も男女共同で授業が行われます。男女と一緒に料理を作ったり、剣道の試合も行われると聞き、お互いの理解を高める工夫がなされているのを感じました。



先生方の熱心な説明に、参加された保護者の皆様は聞き入っていました。また施設見学では、すれ違う生徒さんが、みな元気な声であいさつしてくれました。

施設見学が終わってからも、数人の先生が残っていただき、保護者様からの質問に、丁寧に答えられていました。「細かい質問にも、一つ一つしっかり答えていただいたので、とても安心した。」とのご感想もいただきました。